

国保すさみ病院改革プランの点検・評価について（公表）

平成 22 年 3 月 31 日

国保すさみ病院

国保すさみ病院は、総務省の策定した公立病院改革ガイドラインに基づき、平成 21 年 3 月 23 日に「国保すさみ病院改革プラン」を策定し、「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」及び「経営形態の見直し」の 3 大項目について改革を進めています。

これらの改革・課題解決のための平成 21 年度における取組状況について、下記のとおり公表します。

なお、医業収支比率などの数値目標達成状況については、平成 21 会計年度の決算が確定した後、点検・評価を行い、これを公表します。

記

1. 経営の効率化

（1）事業規模・形態の見直し

平成 22 年 2 月にオーダリングシステムを整備し、外来診察を予約制にしました。

（2）経費削減・抑制対策

平成 21 年 10 月から、事務所が物品の発注・入在庫・在庫管理を一括管理し、値引き交渉や適時適量な発注を行い、経費の節減を図っています。

（3）収入増加・確保対策

①入院基本料・看護補助加算

平成 21 年 6 月に、人員の適正配置を行って入院患者 10 人に対して看護師 1 人の割合とし、入院基本料・看護補助加算の増収を図りました。

②医師による出前講座

医師が町内の集落へ出向き、住民に基礎的な医学知識を学んでいただく出前講座を開きました。講座では、生活習慣の改善や病気の予防をはじめ、すぐに診察を受けるべきかどうかの判断基準などを学んでいただきました。講座の開講等を通して、受付時間外診療件数が減少し、外来患者数が増加するなど効果があらわれました。

(4) その他

①施設改修

平成 22 年 3 月に、病院の耐震補強工事を竣工しました。

また、1 階男女共用トイレを男女別とし、あわせて多目的トイレを設けました。

②常勤医師宿日直回数の軽減

平成 20 年 4 月から、和歌山県立医科大学附属病院及び南和歌山医療センターの協力を得て、休業日等における宿日直医師の派遣を受け、常勤医師の負担を軽減し、もって外来診察や病棟回診など本務に専念できる勤務環境を整えています。

2. 再編・ネットワーク化

(1) 再編・ネットワーク化

南和歌山医療センター及び紀南病院との連携強化を図りました。

具体的には、南和歌山医療センターから内科外来診察と休業日等の宿日直に当たる医師の派遣応援を受けています。また、紀南病院へ毎週金曜日、外科医師 1 名を手術の研究・応援のために派遣しています。

3. 経営形態の見直し

(1) 経営形態の見直し

経営形態の見直しは、すさみ町とその周辺地域における国保すさみ病院の病院事業自体の適否が問われるものです。

現在は地方公営企業法の一部（財務規定等）を適用しています。

経営形態の見直しの選択肢には、①地方公営企業法の全部適用、②地方独立行政法人化（非公務員型）、③指定管理制度の導入、または④民間譲渡の 4 つがあります。

平成 23 年度までの本プランを着実に推し進めるとともに、民間的経営手法をさらに取り入れて、地方公営企業法の全部を適用した、すさみ町の開設する自律的な病院経営を目指すことを引き続き課題としています。